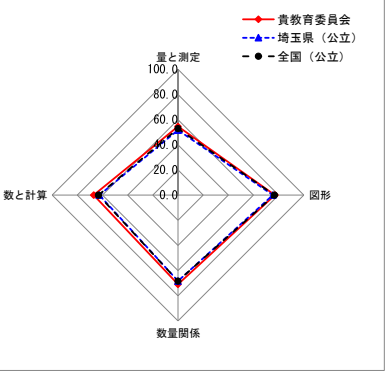


・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象児童数		三郷市教育委員会		埼玉県（公立）	全国（公立）
		1,112		60,600	1,028,177
分類	区分	対象問題数 （問）	平均正答率（％）		
			貴教育委員会	埼玉県（公立）	全国（公立）
全体		14	69	66	66.6
学習指導要領の領域	数と計算	7	67.0	62.5	63.2
	量と測定	3	54.6	51.7	52.9
	図形	2	77.0	75.4	76.7
	数量関係	7	70.9	68.3	68.3
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	8	64.2	61.0	62.2
	数量や図形についての技能	4	77.2	73.4	73.6
	数量や図形についての知識・理解	2	70.1	69.6	70.1
問題形式	選択式	5	75.8	75.1	75.7
	短答式	5	77.4	72.3	72.8
	記述式	4	49.2	46.1	47.4

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				(参考※) 従来の区分		問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	「知識」に関する問題	「活用」に関する問題	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	埼玉県（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	埼玉県（公立）	全国（公立）
1（１）	長方形を直線で切ってきた図形の中から、台形を選ぶ	台形について理解している			4(1)アイ					○	○	○	○		91.4	91.7	93.1	0.0	0.1	0.1	
1（２）	二つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくることのできる形を選ぶ	図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる			4(1)イ 5(1)イ			○		○	○	○		62.6	59.1	60.3	0.3	0.8	0.6		
1（３）	減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く	示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる			5(1)ア			○			○		○	44.4	41.0	43.9	3.2	8.3	6.7		
2（１）	１９８０年から２０１０年までの、１０年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフからわかることを選ぶ	棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる				3(3)ア			○		○	○	○	94.3	95.1	95.2	0.0	0.2	0.2		
2（２）	２０１０年の市全体の水の使用量が１９８０年の市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから読み取って書く	２０１０年の市全体の水の使用量が１９８０年の市全体の水の使用量の何倍を読み取ることができる	4(3)イ			3(3)ア			○		○	○		82.6	80.6	78.6	0.1	1.0	1.0		
2（３）	二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだだけを書く	資料の特徴や傾向に関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる			5(4)ア	3(3)ア		○			○		○	54.6	52.9	52.1	1.1	2.5	2.0		
2（４）	洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、 $6+0.5\times 2$ を計算する	加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる	4(5)ウ			4(2)ア			○		○	○		69.4	58.8	60.1	0.4	1.0	1.0		
3（１）	$350-97$ について、引く数の 97 を 100 にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く	示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる	3(2)イウ					○			○		○	85.8	80.9	81.8	0.4	1.1	0.9		
3（２）	減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようなになるのかを書く	示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる	3(2)ウ 4(3)エ					○			○		○	33.2	29.0	31.1	7.6	12.3	10.8		
3（３）	被除数と除数にかける数や割る数を選び、 $600\div 15$ を計算しやすい式にして計算する	示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる	4(3)イエ					○			○		○	78.5	72.5	74.9	1.5	2.5	2.1		
3（４）	$1800\div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ	示された除法の式の意味を理解している	5(3)アイウ			3(1)				○	○	○	○	48.7	47.4	47.0	0.6	2.3	2.2		
4（１）	だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るために、調べる必要のある事柄を選ぶ	目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる				4(1)		○			○	○		81.9	82.2	82.7	0.7	1.7	1.7		
4（２）	何秒後にゴンドラに乗ることができるのかを求め式を書く	示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる	3(3)イ					○			○		○	70.9	68.5	68.6	3.7	5.0	4.4		
4（３）	残り７ボール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、２４分間以内にレジに着くことができるかどうかを判断する	場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる			5(4)ア	5(1)ア		○			○		○	64.7	61.2	62.6	2.0	3.7	3.5		

※過年度からの継続的な分析に資するため、参考として付すもの。